

代表質問

住める街から住みたい街への実現に向けて



誠和会 横田 義和

市長が掲げた
8項目について

問 健全財政の堅持について伺う。

市長 集中改革プランに掲げた基本方針を継続し、健全財政の堅持を図り、事業の見直しでは、無駄がないのかの検証や、各事業において現状に合致しているのか、対象範囲は適正か、効果はどうなのか等を精査し、見直しをして市民サービスに配慮してまいりたいと考えます。

問 安全な道路整備環境を整える街づくりについて伺う。

市長 交通量の多い主要な交差点には、右折車線と信号機を設置し安全対策を図ることが必要と考えています。今後の計画では、山田台の国道126号と県道岩富・山田台線の交差点改良の一日も早い完成のために、国に対して働きかけをしたいと考えます。

次に県事業として、国道409号の四木入口交差点の改良計画があり、国道に右折車線を設けることとなっております。

また住野十字路では朝夕の慢性的な交通渋滞が起きており、さらに平成24年度には、酒々井インターチェンジが完成予定であり、そのアクセス道路の県道富里・酒々井線の交通量の増加が予想されます。このことから、交差点の改良が必要であり、県に強く要望してまいります。

問 子育て支援の充実について伺う。

市長 今日の少子化の原因に経済的負担への不安を挙げる若い世代が多いことから、児童医療費助成を、現在の小学校6年生までから、平成23年4月から中学校3年生まで拡大する方向で考えます。

また、働くお母さんを支援するため、保育園の待機児童解消に積極的に取り組めます。

問 便利で快適な街づくりについて伺う。

市長 朝夕の快速電車の増発をめざします。

また榎戸駅の東口の開設にも取り組めます。最近、JR側から簡易な形の自由通路設置についての発言が

あったことから、この手法による現実味が出てきましたので、この機会を捉えて早い時期にJR側と交渉し東口の開設を実現してまいりたいと考えます。

問 子どもたちの教育環境の整う街づくりについて伺う。

市長 朝陽小学校の改築事業に取り組み、平成26年度完成に向けて取り組んでまいります。

計画の概要は、校舎のほか、屋内運動場についても、校舎改築にあわせ全面改築を行いたいと考えております。

耐震補強については、耐震診断の結果、早期の補強が必要とされた八街中学校の校舎及び屋内運動場並びに実任小学校屋内運動場について、今年度、補強及び大規模改造を実施してまいります。

なお、川上小学校、交進小学校、八街東小学校につきましても、補強等が必要との結果が出ておりますので、順次実施に向け、取り組んでまいりたいと考えております。

は、年間の利用人数は1万5千人を超えております。最近の改修では、バックネット裏のひさしを全面改修したり、利用者の協力を得て内外野のフィールド全体を整備し、今年度も、グラウンド周囲の樹木の維持管理に努めているところで、今後は夜間照明施設が21年を経過したことから、柱を含めた塗装の塗り替え

を優先的に進めてまいります。

問 健康と思いやりあふれる街づくりについて伺う。

市長 健康診査については、健康診査の拡充及び受診率を向上させるため、平成22年度は、肺がん検診、前立腺がん検診を同日実施いたしました。短期人間ドックは、費用の助成について、実施の方向で具体的に検討してまいりたいと考えています。

また、市としては、子宮頸がん及びヒブワクチン接種に係る費用を全額助成するため、平成23年度に実施する考えです。

問 農商工業を大切にする街づくりについて伺う。

市長 これから増加する一人暮らし高齢者が、いつまでも住み慣れた地域のなかで、安全で安心して生活できるように、ボランティアや民間団体など、さまざまな社会資源を活用することを視野に入れた、一人暮らし高齢者訪

と考える

りについて伺う。基幹産業である農業を営む方々の所得向上と経営の安定を図るためには、農産物のブランド化が有効な手段の一つと考えています。

落花生豆腐や落花生みそなど、本市の特産品を素材とした食品を八街グルメとして、広くPRし、まちおこしを図ります。商工業については、市内唯一の経済団体である八街商工会議所の活動を支援し、商工業の活性化を図るとともに、連携して中心市街地の活性化に向けた八街ティ・エム・オー活動の支援に取り組めます。

高年齢者が生き生きと生活できる街づくり

高齢者が生き生きと生活できる街づくり

